

# 基礎研 レポート

## 「東日本大震災による被害・情報取得経路・復興に関するアンケート」2013年調査結果概要

福島県双葉町民を対象とした第1回調査

保険研究部 研究員 岩崎 敬子  
(03)3512-1882 kiwasaki@nli-research.co.jp

### 1—基本情報

「東日本大震災による被害・生活環境・復興に関するアンケート」調査は、東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクト（東京大学大学院経済学研究科 教授 澤田康幸、ニッセイ基礎研究所 研究員 岩崎敬子）によって、東日本大震災による原子力発電所の事故で全町民が避難を余儀なくされた福島県双葉町の全世帯主の皆様を対象に2013年から行われてきた調査である（過去実施：2013年7月、2014年12月、2016年7月、2017年12月、2019年7月）。本稿では、2013年7月に実施した第1回目のアンケート調査の結果概要を報告する<sup>1</sup>。

表1. 基本情報

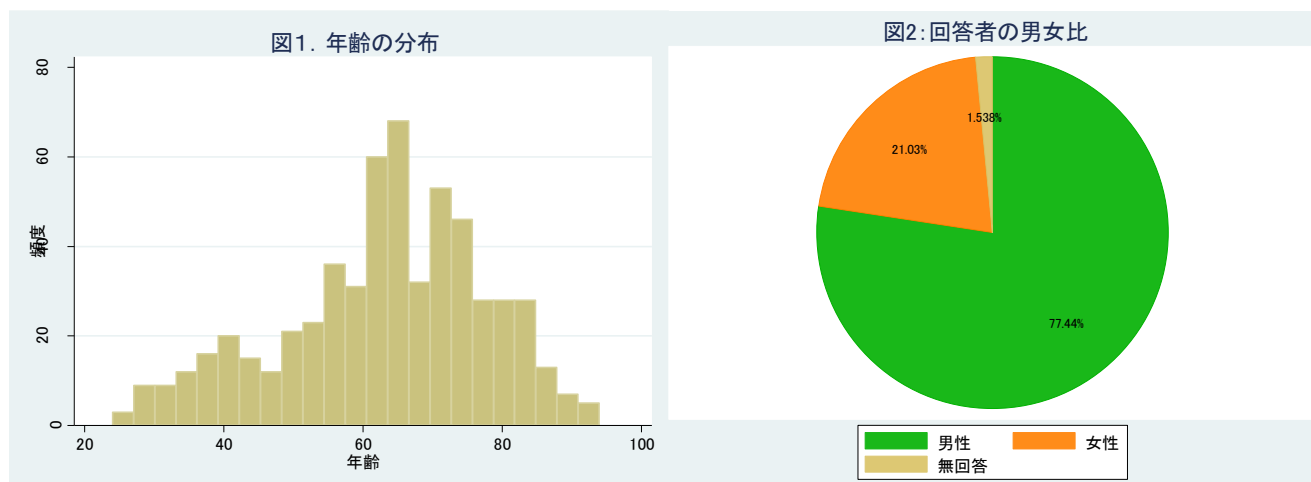
対象	福島県双葉町の全世帯主
アンケート配布数	2,900件
アンケート配布日	2013年7月3日
アンケート回収期間	2013年7月3日～2013年8月22日
回答者数	585名
回答率	約20%

アンケート調査の項目には、年齢や性別等の基本的な属性の他、人とのつながり（ソーシャル・キャピタル）や健康状態に関する項目が含まれ、アンケート調査用紙は、双葉町の広報が配布されているすべての世帯（2,900件）に配布させて頂いた。回答は、全国に避難されている双葉町民585名より頂いた（回答率約20%）。

本調査は世帯主の方を対象としており、年齢、性別の分布については図1、図2の通りである。こ

<sup>1</sup> 本研究は、以下の研究助成によって実施されてきた。記して深謝する。  
科研費（15J09313、26220502、LZ003）、日本経済研究センター研究奨励金  
また、この調査は東京大学倫理委員会の承認（19-73）のもと実施された調査である。

のように、国勢調査の年齢・性別分布に比べると、回答者の年齢分布は60代から70代の方が多く、性別の分布は男性の回答者が多いという偏った分布である。加えて、震災という大変な状況が起こった後にご協力いただいた調査なので、回答者の傾向が一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性も考えられる。そのため、本調査の結果が、必ずしも双葉町民全体の傾向を示すものではないことにご留意頂きたい。



## 2—社会関係資本の変化について

社会関係資本とは、信頼関係やネットワークなどを指し、「きずな」ということばであらわされることもある。この社会関係資本は震災復興の鍵概念として注目されている概念である。本調査の結果からは、双葉町ではこのような社会関係資本に関わる項目が震災によって減少させられている可能性があることが示された。

社会関係資本を図る指標として一般的に使われている指標はいくつかあるが、ここでは3つの項目に注目した。「一般的な人への信頼感」「近所の人との助け合いの頻度」「お茶会など趣味の会などの参加時間」である。図3、図4、図5から、この3つの指標についてはどれも、震災前と比較して減少している傾向があることがわかる。また、私達の分析では、現在ご近所に双葉町民の方が少ない方の間で特に、近所の人との助け合いの頻度と趣味の会などの活動時間が減少している可能性があることが分かった。

図3. 一般的な人への信頼感

「一般的に人は信用できると思いますか。  
それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。」

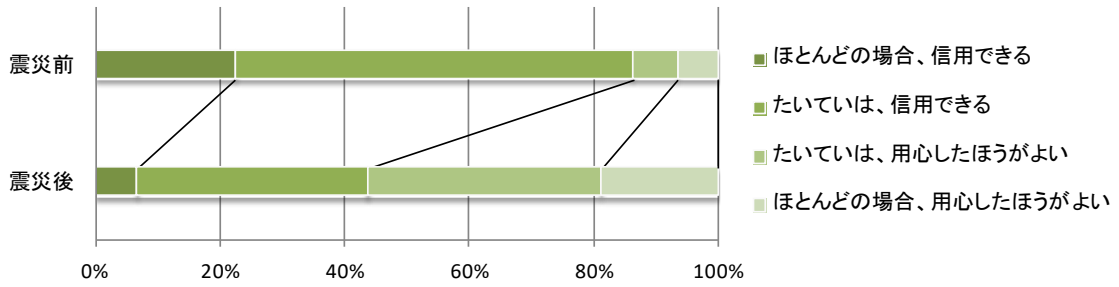


図4. 近所の人との助け合いの頻度

「ご近所付き合いで、世帯主の家族がものをあげたり、手助けしたり、  
逆にものをもらったり助けてもらったりという関係はどのくらいありますか。」

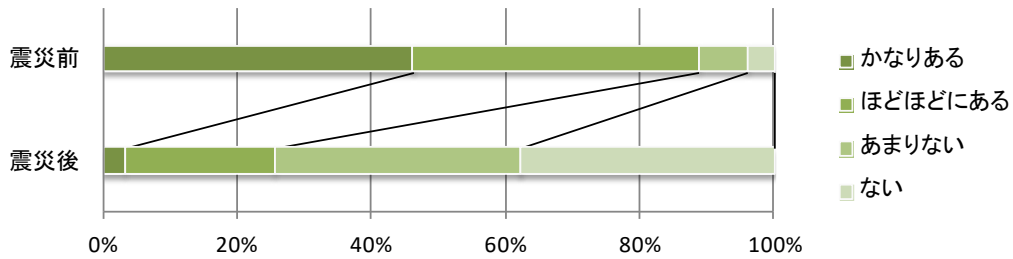
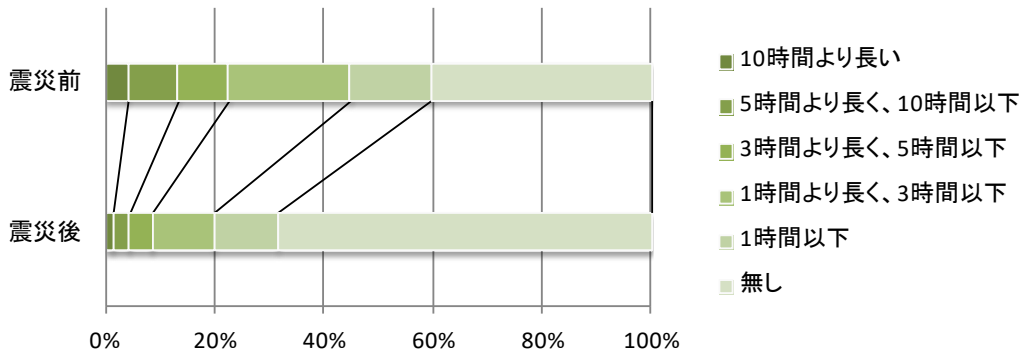


図5. 趣味の会などの活動時間（社会参加、recreation）

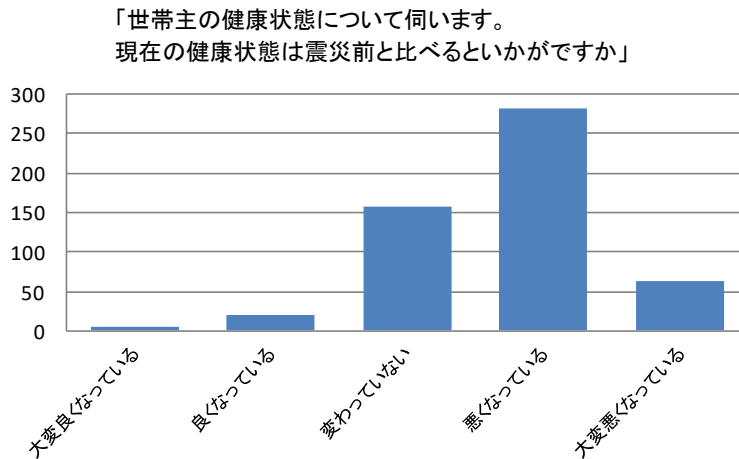
「一週間のうちお茶会などの趣味の会に参加する時間」



### 3—健康状態について

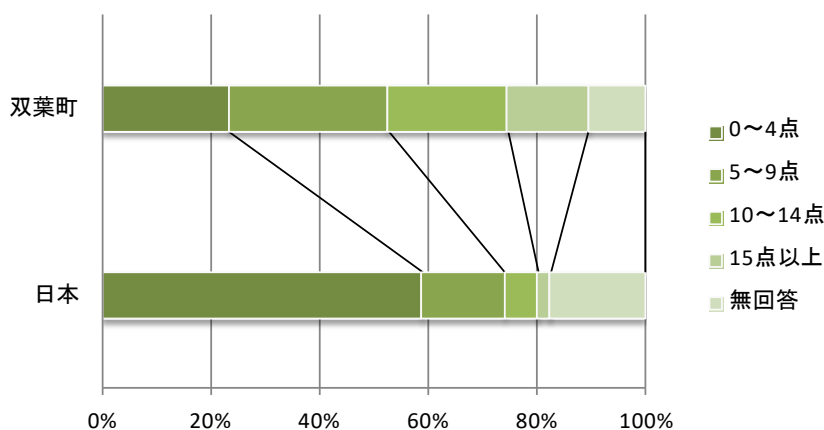
健康状態について、多くの回答者の方が震災前にくらべて、ご自身の健康状態が悪化しているとの自己評価をされている。

図6. 主観的健康状態



また、こころの健康状態について、図7のように、国が行った日本全体の調査の結果と比較して双葉町民の回答者の皆さまの回答結果を集計すると K6 と呼ばれる全般的な**精神健康状態**を診断する指標の数値が高い（こころのストレスが大きい）傾向がある可能性が示された。K6 とは国際的に使用されている全般的なこころの健康状態を示す指標で6つの質問から成り、その合計の点数が高いほど、こころにストレスを抱えている可能性が高いと考えられている。

図7. K6の値：日本全体と双葉町の比較

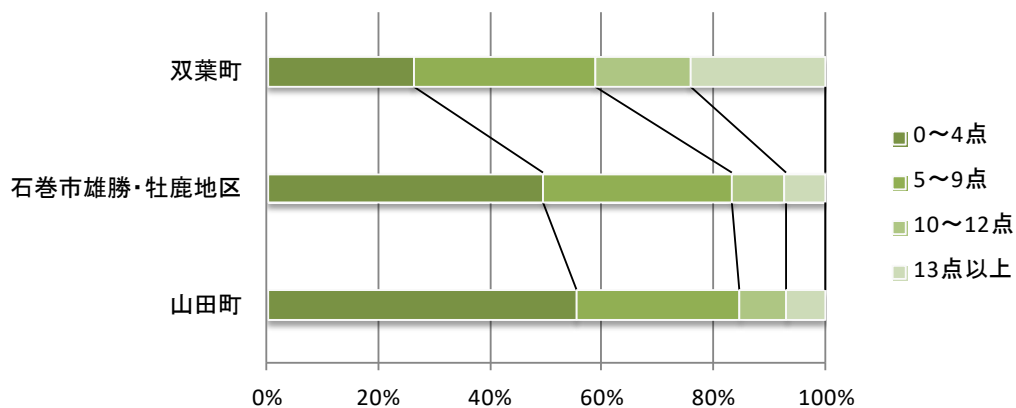


注) この指標は心理的ストレスの度合いを示すもので、大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられる。  
出典) 日本全体: 国民生活基礎調査 (2013)

双葉町: 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによる2013年の調査

K6 の調査は、双葉町以外の被災地でも、震災後に国により調査が行われ、結果が公表されている。図8で見られるように、本調査の回答結果を集計した値はこれらの他の被災地での調査の結果と比べても大きい可能性があることがしめされた。人災と呼ばれる災害が自然災害に比べてより大きな精神的なストレスをもたらす可能性があるということを示しているのではないかと私たちは考えている。

図8. K6の値: 他の被災地と双葉町との比較



注) この指標は心理的ストレスの度合いを示すもので、大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられる。  
 出典) 双葉町: 東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査  
 その他地域: 東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査 (研究代表者: 林謙治) 2012

しかしながら、この調査結果が必ずしもすべての双葉町の皆さまに当てはまるわけではなく、K6 の値が高いからといって精神的な疾患があると断定されるものではない。あくまで、政策的な示唆を行政などに与えるための調査であることを申し添える。

それでは、どういった方が、このような震災被害にも関わらず、低い K6 の値を保つことができた傾向があるのだろうか。年齢、性別などを考慮に入れて分析を行った結果、震災後の健康状態の悪化の傾向が少なかった方、震災後の収入の高い方、震災後の社会関係資本の中でも「一般的な信頼度」の値の高い方が、低い K6 の値を保つことができていた可能性があることが示唆された。

さらに、もともと大きな家に住んでいたのに現在避難生活で、震災前に比べて狭い住宅での生活を余儀なくされていることが、ストレスに繋がっているのではないかというご意見を頂き、その可能性についても検証した。その結果、国勢調査を利用して、年齢や性別の偏りを調整し、さらに、年齢、性別、収入などの違いを考慮した上でも、以前に住んでいた建物の広さが広いの方が、K6 の値が高い、つまり、以前に住んでいた建物の広さが広いの方が、避難生活で精神的に大きなストレスを抱えている可能性が高いということが分かった。震災前は双葉町で広いお宅に住んでいたのに、避難して住居が狭くなってしまったことが、ストレスになっている可能性が数値でも表れていることが示唆された結果となった。

これらの結果に基づいてさらに分析を進めると同時に、どのような具体的な提案が必要なのか検討していく所存である。

本調査結果は、調査にご協力頂いた約 20%の双葉町の世帯の方のご回答のみを集計・分析した結果であり、この結果が双葉町民の方全員の傾向を表すものではありません。震災という大変な状況が起こったあとにご協力いただいた調査であるため、回答者の内訳は一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性もございます。その為、健康状態の自己評価についての集計や、こころの健康状態についての集計においても、過大評価がされている可能性がございます。結果の解釈には十分な注意が必要であり、この調査結果のみによる断定的な判断は避ける必要がありますことにご留意いただければ幸いです。

資料： 集計結果

A1. この調査票を記入していただいているのはどなたですか。

	頻度	割合
世帯主本人	400	68.38
配偶者	141	24.10
世帯主の代理人	2	0.34
世帯主の子供	25	4.27
その他	9	1.54
無回答	8	1.37
合計	585	100.00

A2. 世帯全体で東日本大震災に関するアンケート調査に、本アンケートを除いて、これまで何回くらい回答したことがありますか。

	頻度	割合
15回以上	31	5.30
10～14回	60	10.26
6～9回	170	29.06
3～5回	238	40.68
1～2回	58	9.91
0回	6	1.03
無回答	22	3.76
合計	585	100.00

B1. 世帯主の基本的な情報についておしらせください。

- a) 年齢 平均： 63才 最年長： 94歳 最年少： 24歳
- b) 性別 男性： 77% 女性： 21% 無回答： 2%
- c) 現在のお住まい

全国各地からご回答いただきました。ありがとうございます。

集計結果は省略させていただきます。

d) 現在のお住まいの種類

	頻度	割合
仮設住宅	60	10.26
県営・市営住宅	29	4.96
公務員宿舎	18	3.08
借り上げ住宅	294	50.26
社宅	17	2.91
両親、息子娘の家	24	4.10
兄弟姉妹の家	3	0.51
その他親戚の家	4	0.68
震災前と異なる持ち家	52	8.89
その他	77	13.16
無回答	7	1.20
合計	585	100.00

Sd1. 現在のお住まいの近隣には、双葉町在住時には知り合  
でなかったものの、避難を通して同じ双葉町民として知り合っ  
た方はどれくらい住んでいらっしゃいますか。

	頻度	割合
20世帯以上	56	9.57
10～19世帯	20	3.42
6～9世帯	38	6.50
3～5世帯	84	14.36
1～2世帯	97	16.58
いない	278	47.52
無回答	12	2.05
合計	585	100.00

Sd2. 現在のお住まいの近隣には、双葉町在住時知り合いだっ  
た双葉町民の方はどれくらい住んでいらっしゃいますか。

	頻度	割合
20世帯以上	43	7.35
10～19世帯	24	4.10
6～9世帯	47	8.03
3～5世帯	79	13.50
1～2世帯	138	23.59
いない	246	42.05
無回答	8	1.37
合計	585	100.00

e) 世帯主の現在のお仕事に一番近いものは。

	頻度	割合
お勤め（会社員・公務員等）	148	25.30
農業・林業従事	9	1.54
水産業従事	1	0.17
自営業	23	3.93
開業医、弁護士など自由業	1	0.17
家事	14	2.39
学生	0	0.00
定年退職、引退	181	30.94
無職：求職中	125	21.37
アルバイト	15	2.56
その他	50	8.55
無回答	18	3.08
合計	585	100.00

f) 世帯主の方は震災後の職場にどのように就職されましたか。

	頻度	割合
ハローワークの紹介	17	2.91
公務員試験等の就職試験	3	0.51
町役場など公的機関の紹介	15	2.56
家族・親戚の紹介	4	0.68
友人の紹介	10	1.71
同窓生の紹介	1	0.17
就職Webサイト等から	3	0.51
自営業	12	2.05
その他	32	5.47
非該当・無回答	488	83.41
合計	585	100.00

g) 世帯主の**震災前**のお仕事に一番近いものは。

	頻度	割合
お勤め（会社員・公務員等）	220	37.61
農業・林業従事	58	9.91
水産業従事	0	0.00
自営業	55	9.40
開業医、弁護士など自由業	3	0.51
家事	10	1.71
学生	0	0.00
定年退職、引退	86	14.70
無職：求職中	17	2.91
アルバイト	14	2.39
その他	39	6.67
無回答	83	14.19
合計	585	100.00

h) 世帯主の方は**震災前**の職場にどのように就職されましたか。

	頻度	割合
ハローワークの紹介	35	5.98
公務員試験等の就職試験	70	11.97
町役場など公的機関の紹介	13	2.22
家族・親戚の紹介	55	9.40
友人の紹介	53	9.06
同窓生の紹介	4	0.68
就職Webサイト等から	11	1.88
自営業	71	12.14
その他	60	10.26
非該当・無回答	213	36.41
合計	585	100.00

i) 世帯主の最終学歴をお知らせください。

	頻度	割合
中学	46	7.86
高校	329	56.24
短大・高専	49	8.38
大学	73	12.48
その他	43	7.35
無回答	45	7.69
Total	585	100.00

B2. 世帯主の家族・親戚の構成をお教えてください。

集計結果は省略させていただきます

C1. **震災前**、世帯主は双葉町のどちらの**大字**にお住まいでしたか。

	頻度	割合
石熊	14	2.39
山田	42	7.18
松迫	2	0.34
水沢	7	1.20
目さく	4	0.68
郡山	43	7.35
上羽鳥	14	2.39
新山	135	23.08
松倉	2	0.34
寺沢	10	1.71
渋川	7	1.20
鴻草	22	3.76
細谷	10	1.71
下羽鳥	14	2.39
中田	7	1.20
長塚	173	29.57
両竹	5	0.85
中浜	5	0.85
中野	8	1.37
前田	53	9.06
その他	3	0.51
無回答	5	0.85
合計	585	100.00

C2. ご近所付き合いで、世帯主の家族がものをあげたり、手助けしたり、逆にものをもらったり、助けてもらったという関係は**震災前**ほどのくらいありましたか？また、**現在は**どのくらいありますか。

	震災前	割合
かなりあった	45.81	3.25
ほどほどにあった	42.22	21.88
あまりなかった	7.18	35.90
なかった	3.93	37.09
無回答	0.85	1.88
合計	100.00	100.00

C3. そのうち、してもらったことはどのようなことですか？

	震災前 (%)	現在 (%)
農作業の手伝い	20.51	0.51
漁業の手伝い	0.17	0.00
子どもの世話	11.79	2.05
おすそわけ	82.74	46.50
その他	11.28	13.50

C4. 近所の方は私が困っていたら手助けしてくれる

	震災前 (%)	現在 (%)
よくあてはまる	31.79	4.96
あてはまる	40.68	14.53
どちらともいえない	17.95	28.38
あてはまらない	4.44	21.03
まったくあてはまらない	1.71	27.52
無回答	3.42	3.59
合計	100.00	100.00



C5. 震災前と震災後の生活について教えてください。

	震災前(%)				震災後(%)			
	はい	いいえ	わからない	無回答	はい	いいえ	わからない	無回答
ドアを開けたまま外出することがよくある。	45.47	51.28	0.34	2.91	4.96	90.94	1.37	2.74
友人にお金やものを貸すことがよくある。	25.98	67.18	2.56	4.27	2.74	90.94	2.39	3.93
不在の双葉町自宅を含め空き巣被害にあったことがある。	12.31	77.44	6.15	4.1	12.65	67.35	14.19	5.81
その他犯罪の被害にあったことがある。	5.3	84.1	4.44	6.15	5.81	76.41	9.23	8.55
ほとんどの人は公平にしようとしていると思う。	60.68	6.5	27.35	5.47	30.6	15.9	47.18	6.32
自分は周りから信用されていると思う。	58.12	3.08	35.38	3.42	24.27	8.03	63.76	3.93

C6. 一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。

	震災前(%)	震災後(%)
ほとんどの場合、信用できる	19.66	6.50
たいていは、信用できる	55.90	36.24
たいていは、用心したほうがよい	16.07	36.58
ほとんどの場合、用心したほうがよい	5.64	18.29
無回答	2.73	2.39
合計	100.00	100.00

C7. ボランティア活動、クラブ活動、趣味の活動について各何時間くらいになるか教えてください。

	震災前平均値	震災後平均値
一週間のうち平均的にボランティア活動を行う時間	1.31時間	0.87時間
一週間のうちお茶会などの趣味の会に参加する時間	2.60時間	1.03時間
一日に家族と話をする時間	3.57時間	3.22時間
一日に友人と話をする時間	1.87時間	0.80時間
一日に挨拶する人の平均的な人数	15.71人	6.86人
震災前からの友人の数	15.51人	7.77人
震災後避難地等でできた新しい友人の数	—	4.37人

C8. 世帯主の健康状態について伺います。現在の健康状態は、震災前と比べるといかがですか。

	頻度	割合
大変良くなっている	4	0.68
良くなっている	19	3.25
変わっていない	157	26.84
悪くなっている	281	48.03
大変悪くなっている	64	10.94
無回答	60	10.26
合計	585	100.00

C9. 過去30日間に世帯主はどれくらいの頻度で次のことがありましたか。(K6)

採点基準：

	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
神経過敏に感じましたか。	0点	1点	2点	3点	4点
絶望的だと感じましたか。	0点	1点	2点	3点	4点
そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	0点	1点	2点	3点	4点
気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか。	0点	1点	2点	3点	4点
何をするのも骨折りだと感じましたか。	0点	1点	2点	3点	4点
自分は価値のない人間だと感じましたか。	0点	1点	2点	3点	4点

合計点数分布

	頻度	割合
0～4点	137	23.42
5～9点	171	29.23
10～14点	129	22.05
15点以上	87	14.87
無回答	61	10.43
合計	585	100.00

D1. 震災前のお住まいの所有形態はどちらにあたりますか。

	頻度	割合
持ち家・もしくは持ち家の家族と同居	436	74.53
その他賃貸・社宅等	81	13.85
無回答	68	11.62
合計	585	100.00

SD1. 震災前お住まいの宅地・建物・その他農地、貸地の広さを

「平米」「坪」のいずれかでお答えください。

集計結果は省略させていただきます。

SD2. 震災前の主なお住まいのつくりはどちらにあたりますか

集計結果は省略させていただきます。

SD3. 主なお住まいの建築時期は

集計結果は省略させていただきます。

D2. 地震、津波等による双葉町のお住まいの被害状況を放射能汚染の被害を含まずに1つお選び下さい。

	頻度	割合
全壊	28	4.79
半壊	57	9.74
一部損壊	243	41.54
大きな被害無	224	38.29
その他	17	2.91
無回答	16	2.74
合計	585	100.00

D3. 時間経過による双葉町のお住まいの被害状況について

お答えください

	頻度	割合
掃除をすれば住める状況	142	24.27
リフォーム必須	197	33.68
建て替え必須	210	35.9
無回答	36	6.15
合計	585	100

D4. 住宅の賠償について支払いを受けたものに○印してください

い

	該当者割合(%)
1. 被災者生活再建支援金	7.01
2. 地震・火災保険等	40.85
3. 東京電力	43.42
4. その他	9.4

1 から 4 の賠償の中で最も金額が大きかったのはどれですか？

	頻度	割合
1	7	1.20
2	116	19.83
3	184	31.45
4	6	1.03
無回答	272	0.85
合計	585	100.00

D5. 東京電力より精神的損害、避難費用、就労不能損害の支給を受けていますか。

	頻度	割合
はい	497	84.96
いいえ	67	11.45
無回答	21	3.59
合計	585	100.00

D6. その他の被災で必要になったお金やモノを手に入れるため

の資金や物資の調達方法について、あてはまるものに○印をしてください。

	該当者割合
1. 義援金	61.54
2. 親戚からの援助	26.31
3. 友人などからの私的な援	11.62
4. 金融機関からの融資	3.08
5. 貯金の切り崩し	75.56
6. その他	11.79

1 から 6 の中で最も大きかったのはどれですか。

	頻度	割合
1	84	14.70
2	25	4.27
3	6	1.03
4	6	1.03
5	223	38.12
6	43	7.35
無回答	198	33.84
合計	585	100.00

D7. 世帯主のそれぞれの時期の主な滞り場所と種類をA~C、1~12の各番号に○印をお付けください。 : 該当者の割合 (%)

	滞り場所			実際に住んでおられたところの種類													
	第一原発から20キロ圏内	20キロ圏外の福島県内	福島県外	震災時に住んでいた自宅	避難所・テント・車の中	ホテル・旅館等	両親・息子・娘宅	兄弟姉妹宅	その他親類宅	友人宅	仮設住宅	公営住宅	公務員住宅	賃貸住宅	社宅	震災前と異なる持ち家	その他
3月11日~14日	51	50	7	27	57	3	9	5	10	2	0.2	0.9	0.2	2	0.3	0.3	6
発生4日~1週間	9	54	86	1	40	5	12	10	15	4	0	0.2	0	2	0.3	0.2	5
発生2週間~2ヶ月	1	26	61	0.3	22	7	18	12	14	4	0.7	4	0.3	14	1	0.3	7
発生2ヶ月~6ヶ月	0.9	32	50	0	14	8	10	4	4	0.9	3	10	0.5	29	2	0.5	7
発生6ヶ月~2013/6月末	0.7	40	47	0.2	7	2	6	2	1	0.5	8	9	3	42	4	6	8

D8. 震災直後から現在に至るまで、どのような手段で主に情報を得ていらっしゃいましたか。 : 該当者の割合 (%)

	実際に主に使っていた手段を○で囲んでください													
	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯電話・スマートフォン	防災無線	双葉町での隣人・友人	同窓生	親戚	町	県	国	避難場所での出会った人	避難場所の県や市より	その他
3月11日~14日	56	28	3	16	16	20	2	9	21	0.9	0.7	20	6	6
発生4日~1週間	64	19	5	16	2	15	2	12	18	2	1	15	9	6
発生2週間~2ヶ月	22	12	10	21	0.5	15	3	15	24	7	3	10	9	7
発生2ヶ月~6ヶ月	69	11	15	20	0.2	15	3	12	34	11	6	8	11	8
発生6ヶ月~2013/6月末	73	10	21	21	0.3	20	3	11	42	17	8	6	14	9

D9. 震災前に世帯主と同居されていたご家族の中で、震災から今日までの間に、震災の影響でケガ、病気で入院をされたり、死亡された方がおられましたか。

集計結果は省略させていただきます。

D10. 震災前の世帯主含めて世帯全体の年収と、現在の世帯主含めて世帯全体の年収

	震災前 (%)	現在 (%)
100万円未満	5.30	15.90
100万円~200万円未満	8.72	17.44
200万円~300万円未満	15.38	17.09
300万円~400万円未満	14.87	14.36
400万円~600万円未満	19.66	12.65
600万円~800万円未満	12.82	9.06
800万円~1000万円未満	7.35	3.59
1000万円以上	7.01	1.03
無回答	8.89	8.89
合計	100.00	100.00

D11. 世帯主は、将来町に戻るおつもりですか。

	頻度	割合
はい	56	9.59
まだ決められない	176	30.14
戻らない	335	57.36
無回答	18	2.91
合計	585	100.00

D12. 震災後の生活で困っていること、日ごろお気づきのこと、感じておられることなどご自由にお書き下さい。

たくさん大変貴重なご意見を頂きました。ありがとうございました。

以上